

洪水想定避難訓練を市内通所事業所と実施しました。

施設種別：通所介護事業所

実施日時：令和3年10月22日（金）午後2時から2時45分

実施場所：当該事業所内

想定災害：鍋谷川及び梯川の洪水氾濫

訓練参加者：

通所介護事業所 職員5名、利用者19名（内車椅子利用者3名）

小松市消防本部より2名、小松市長寿介護課職員1名

訓練内容：入浴時の避難誘導（浴室から車への移乗まで）

当日の訓練の様子：

今回は利用者代表8名（内車椅子利用者2名）を車両への移乗まで実施した。

14:05 避難準備

14:10 浴室利用者の着衣完了

14:15 避難指示⇒車両への移動

14:30 避難完了

14:45 消防本部による訓練参加者への講評

所感及び助言等：

1. 高齢者の避難に想定以上の時間を要した。
 - ・職員4名で利用者8名を車両までの移乗するまでに要した時間：5分40秒
 - ・上記のうち車椅子の方を玄関から車に乗せるまでの時間：約2分/人
 - ・利用者全員を送迎車に乗せるまでに要する時間 推定約30分
（対応案）警戒レベル3前の避難を検討する。
2. 指揮者が途中で指揮から離れて、館内の指揮者がいなくなった。
（対応案）各担当を決め、指揮者が最後まで指揮を取れる体制にする。
3. 利用者及びその家族への説明、同意
 - ・緊急時の避難先を、予め利用者や家族、ケアマネ等に説明する必要がある。
 - ・天候によって、そもそも営業できない場合も想定されるので、休業時の避難体制について、担当ケアマネージャー等と予め情報共有をしておくことが必要である
4. 避難に係る職員の体制について
 - ・当日出勤の職員5名のうち、4名が移乗支援を行っていたが、当日本部や家族等への状況説明等の電話番等で1名かかりつけになる場合がある。その場合はもう少し時間がかかることが想定される。